ＮＳＤ３０００シリーズ

取扱説明書

4/8/16チャンネル共通

V1. 1 NSS

- この度はデジタル・ビデオ・レコーダーをお求めいただきありがとうございます。
- 本機をご使用の前に、この取扱説明書をお読みいただき、十分ご理解いただいた上で、正しくご使用されますよう、お願い申し上げます。
- この取扱説明書は、後で確認できるよう、分かりやすい場所に保管してください。
- サードパーティー製のカメラ・モニタ・警報装置およびコンピュータを接続する場合、それらの説明書もお読みいただくようお願い致します。

安全上のご注意

注意:

本機の分解・改造をしないでください。感電や火災の原因となり、大変危険です。
修理や部品交換が必要な場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

左側のシンボルは感電の危険のある十分な電圧の存在を示します。

左側のシンボルはこの機器を使うに重要な操作や管理維持方法を示します。

注意:

この機器をぬらさないでください。雨や水にぬれると、発火及び感電の原因になります。

目次

免責事項 5

警告 5

注意 6

故障を防ぐために 6

規制 7

梱包品の確認 8

I. 各部の名称と働き 9

1. 前面パネル 9
2. 背面パネル 12
3. リモコン 13
4. マウス制御 14
5. マウス制御用仮想キーパッド 14

II. 設置 & 接続 15

1. カメラ、モニタ、音声、アラーム・センサー、電源コード 15
2. ネットワーク接続用PCのシステム条件 15

III. クイック・スタート・ページ 16

IV. ライブ監視 18

1. 表示概要 18
2. 分割画面表示および画面自動切替 20
2.1. 1画面表示 20
2.2. 分割画面表示と画面自動切替 20
3. 分割画面用クイックボタン 21
3.1. クイック・マルチ・分割画面変換 21
3.2. 画面移動 21
4. ズーム機能 22

V. 操作 23
1. ログイン/アウト 23
2. メイン・メニューの概要 24
VI. 設定 25
1. 画面 25
1.1. 設定 25
1.2. 画面自動切替設定 26
1.3. イベント 27
2. カメラ 28
2.1 カテゴリ：エリア 28
2.2 カテゴリ：カメラ 31
3. 録画 32
3.1. 設定 32
3.2 解像度 & 録画速度 33
3.3. ノーマル録画 34
3.4. イベント録画 35
1) アラーム録画 **35**
2) モーション録画 **36**
3) マルチ・イベント録画 **36**
3.5 ノーマル(継続) + イベント**(**モーション**/**アラーム**)**録画 37
4. 予約録画 38
4.1. 予約録画設定 38
4.2. 休日設定 39
5. ディスク 40
5.1. ディスク管理 40
5.2. 録画用ディスク 41
5.3. S.M.A.R.T情報 41
6. ネットワーク 42
6.1. IP設定 42
6.2. 設定 43
6.3. Eメール 44
6.4. SMTP 45
6.5. DDNS (ダイナミック**DNS)** 46
6.6 ルーター & ポートフォーワーディンぐ 47
7. デバイス 49

7.1. 設定 49
7.2. アラーム 50
7.3. PTZ イベント 52
8. システム 53
8.1. 設定 53
8.2. 日時設定 54
8.3. ユーザー設定 55
8.4. アップデート 56
8.5. システム情報 57

VII. パン**/**チルト**/**ズーム制御 58

1. P.T.Z .メニュー 58
2. プリセット **&** ツアー 59
3. カスタム機能 60
4.自動パン **/** 自動チルト **/** 電源 60
5. PTZ カメラ・モデル **–** パン**/**チルト**/**ズーム カメラ・リスト 61

VIII. 再生**/**検索 62

1. 再生 62
2. 時間検索 62
2.1 複数チャンネル再生 62
2.2 イベント録画検索 63
2.3 イベントソース検索 63
2.4 モーション・エリア検索**(1**チャンネル再生**)** 64
3.簡単検索 64
4.ログリスト検索 65

IX.バックアップ 66

1. マニュアル・バックアップ 66
1.1 USBメモリー 66
1.2 外部**USB HDD/CD-DVD** 67
1.3 バックアップ範囲の設定 67
2. 自動バックアップ**(FTP)** 68
3. ログリストバックアップ 69

X.仕様 70

免責事項

- この取扱説明書に記載された情報は、発行時点のものです。仕様及び性能は予告なく変更される場合があります。また、これらの変更のために、より新しい取扱説明書が発行される場合があります。
- デジタルビデオレコーダー、ソフトウェア、ハードディスク、パソコン周辺機器等の操作ミスや故障による障害またはデータ消失によって、結果的に生じる損害は保障できません。

警告

- 本機の通気孔またはスロットを塞がないでください。 器具の過熱防止のため、通気孔とスロットの周囲は最低５ｃｍ空けてください。
- スロット内に金属部品を入れないでください。本機に回復不能な損害を与える恐れがあります。もし入れてしまった場合は直ちに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。そしてお買い求めの販売店にご連絡ください。
- 本機の分解・改造をしないでください。感電や火災の原因となり、大変危険です。修理や部品交換が必要な場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。
- 煙や異臭を感じた場合は、火災や感電を防止するため、直ちに機器の使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、煙等が止まったことを必ず確認し、販売店にご相談ください。
- 本機に重い物を落すなどしてケースが変形・破損した場合は直ちに使用を中止し、衝撃や振動を与えないようにしてください。次に、火災や感電を防止するため、直ちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。
- 本機に水などの液体を入れないでください。DVRは防水ではありません。本機に液体がかかった場合や潮風で汚れた場合は、乾いた柔らかい吸水性の良い布で拭いてください。本機に水または異物が入った場合には、直ちに使用を中止し、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使い続けると火災や感電の恐れがあり、危険ですので販売店にご相談ください。
- 本機のお手入れにアルコール・ベンゼン・シンナーなどの燃えやすい物質を使用しないでください。日常のお手入れは乾いた布で拭くようにしてください。また、埃・湿気・油の多い環境での使用は火災やショートの恐れがあるので避けてください。.
- 電源コードに重い物を乗せたり切断したり傷つけたりしないでください。これらは火災・ショート・感電の原因になることがあります。
- 感電の恐れがありますので濡れた手で本機や本機の電源コードに触れないでください。電源プラグをコンセントから抜くときはプラグを持って抜いてください。火災・感電・故障などの恐れがありますので、コードを持って引き抜かないでください。
- 電源は、付属のACアダプタをご使用ください。本機に他の電源を使用した場合、火災・感

電・加熱・装置の変形等の恐れがあります。

- 液漏れ・火災・感電・破裂・等により重症を負う恐れがありますので、バッテリーを熱源の近くに置いたり、炎や熱に直接さらしたり、水中に沈めたりしないでください。
- 破裂の恐れがあり大変危険なので、バッテリーの加熱や分解をしようとしないでください。バッテリーの液が体（目や口に入った場合も）や衣類に付着した場合、すぐに水で洗い流してください。 また、液が目や口に入った場合は速やかに医師に相談してください。
- バッテリーに強い衝撃を与えることや落下させることは避けてください。液漏れや怪我の原因になることがあります。
- キーホルダーのような金属物でバッテリー端子をショートさせないでください。過熱や火傷、その他の傷害の原因になることがあります。.
- 付属のACアダプタと電源コードは、このDVR専用に設計されています。火災などの恐れがありますので、他の製品やバッテリーに使用しないでください。

注意

- 指定された温度・湿度または電源定格を超える状態で装置を運用しないでください。温度0～40℃、湿度90%以下でご使用ください。この装置の専用ACアダプタが正常動作するための電源はAC100～240V 50/60Hzです。

故障を防ぐために

- 強い磁界を避けてください。電気モーターまたは他の強い電磁界を発生する装置の近くに本機を置かないでください。強い磁界にさらされると、装置の故障や画像データが壊れることがあります。.
- 結露を避けてください。急激な温度差のある環境に装置を移動すると装置の内部または外部に結露を生じることがあります。これを避けるには、予め装置をジッパー付のビニール袋に入れて密封しておき、その状態で移動した後、移動先の温度に馴染ませてから袋を外してください。
- デジタル・ビデオ・レコーダー内部に結露を生じたら。結露を発見した場合は直ちに装置の使用を止めてください。使用を続けると、故障の原因になることがあります。コンセントから電源コードを抜き、装置が完全に乾燥するのを待ってください。

規制

FCC規定遵守：このDVRはFCC規定のPart15のクラスAデジタル・デバイスの基準でテストされました。それらの基準はこの装置がコマーシャル環境で使われるとき生じる有害な障害からの保護を設けるために決められました。この装置は電波エネルギーを発生、使用するのでマニュアルに従って設置、使用されない場合は、電波通信の干渉、障害のおそれがあります。この装置の住宅街での使用はユーザー自費で直すことが要求される有害な傷害を致しやすいです。

ノート: この装置の独断の改造によるラジオ、テレビなどとの障害問題について、当社は責任を負いません。無断で改造した場合、この装置を操作するユーザーの権限が無効になる恐れがあります。

注意

- もの装置に合わないバッテリの使用は爆発の危険がありますのでご注意ください。使用済みのバッテリは規定に従い処理してください。
- コンセントはなるべくこの装置の近くに設置し、接近しやすくしてください。

梱包品の確認

パッケージと中身に破損がないか確認してください。部品が足りない場合や破損している場合はすぐにお買い求めの販売店にご連絡ください。なお、梱包材は本機を再び輸送するとき（引越しや修理）に必要となりますので、大切に保管してください。

品名	数量	備考
デジタル・ビデオ・レコーダー	1	
クライアント・ソフトウエアCD	1	
リモコン	1	
乾電池 (COIN-CR2025)	1	
アダプター	1	
電源コード	1	
取扱説明書	1	
マウス	1	
A/V ケーブル	1	16チャンネル専用 (16ch：映像、2ch~4ch：音声)

I.各部の名称と働き

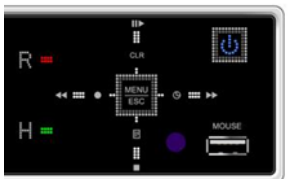
1. 前面パネル

< 4チャンネル >

< 8チャンネル>

< 16チャンネル>

1. モード・インジケーター: ３個のLEDが本機の状態を表示します。



電源 (青)、録画 (赤) 、HDD (緑)

2. 再生 / 録画制御: これらの機能は、ライブモード・再生モード・メニュー内、

それぞれの場合によって変わります。

I. 方向ボタン: メニュー設定モード時のカーソル移動に使用します。

II. 目/■ [ログ / 再生停止]

① ログ：このボタンを押し、ログリストを確認します。

② 再生停止：このボタンを押し、再生を停止します。

III. ◀◀/● [録画/逆コマ送りまたは巻戻し]

① 逆コマ送り： このボタンは一時停止状態から逆コマ送りするために使用されます。

② 早戻し： このボタンは再生モード時に巻き戻しとして使用されます。

③ 録画： このボタンを押すと録画を開始します。録画の開始と停止を切り替えることができます。

IV. CLR /II▶ [クリア/一時停止または再生]：

① クリア：ライブ状態では、日時やチャンネル・アイコンのようなオンスクリーン表示情報を非表示にするために使用されます。 このボタンは画面の端に表示される任意の警告アイコン(AL、VLおよびPL)を消すためにも使用されます。このボタンはまた、アラームブザーを止めるためにも使います。

② 一時停止または再生：再生モード時は一時停止または通常速度の再生に使用します。

V. ◷/▶▶ [ログイン・アウト/コマ送りおよび早送り]：

① ログイン ： ユーザーを設定し、ログイン/アウトします。

② コマ送り： 再生モード時の一時停止状態では、コマ送りになります。

③ 早送り：再生モード時には早送りとして使用されます。

3. メニュー / ESCボタン: MENU / ESC

① メニュー：メインメニューを表示します。

② ESC：設定を保存せずにメニューを抜けます。

4. 決定/10＋ :

決定：: 設定を保存するには決定ボタンを押します。

10＋：16ch DVRの一画面表示

11ch~16chの一画面表示方法： ボタンを押した後、１から６を

押します。例) ＋1：11ch・・・ ＋6：16ch

5. バックアップ：

このボタンを押し、バックアップメニューへ入ります。

6. 画面分割/＋ ：

画面を分割表示します。また設定値を上げるためにも使用します。

7. 時間検索/－：

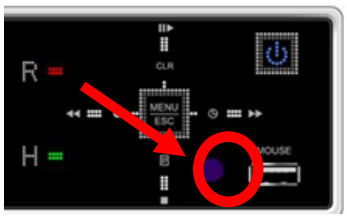
録画データを検索します。このボタンを押すと録画データがカレンダーに表示されます。

8. チャンネル / 数字ボタン ：

これらのボタンはデータ入力や選択など多くの機能を持っています。 パスワードの入力を促されたときの数字データの入力、カメラのチャンネル選択、予約オプション時の日時選択などにも使用します。

9. リモコン受信部:

リモコンから受信部が見える必要があるので、受信部を塞がないでください。



10. 電源ボタン:

電源をOFFします。 POWER LEDは電源が入っているときに点灯します。

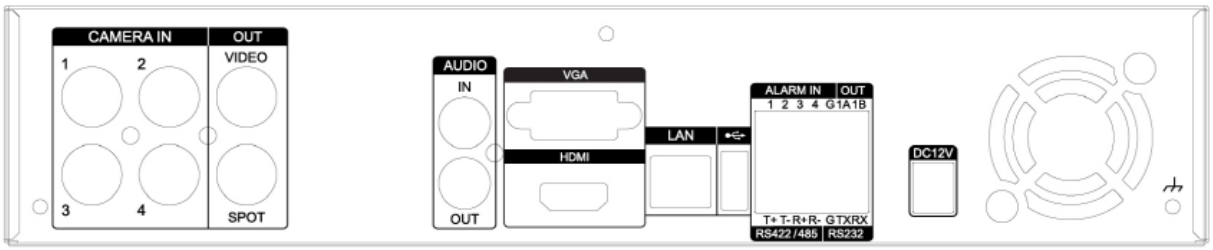
電源OFF：電源ボタン→暗証番号入力→録画機からアダプター分離
電源ON：アダプターを連結すると正常起動します。

11. USBポート:

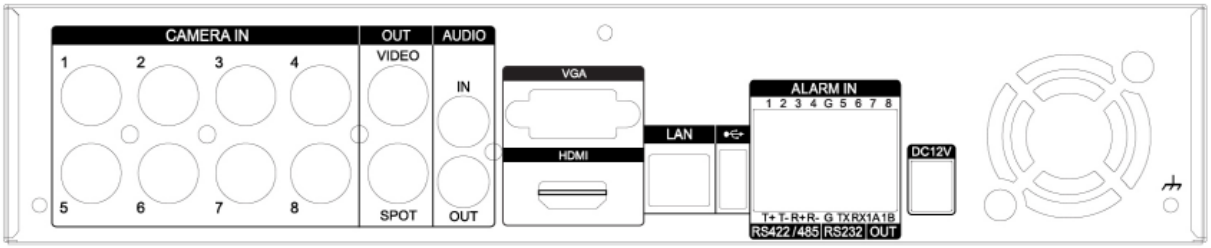
USBマウスやバックアップ用USBメモリーを接続します。

2. 背面パネル

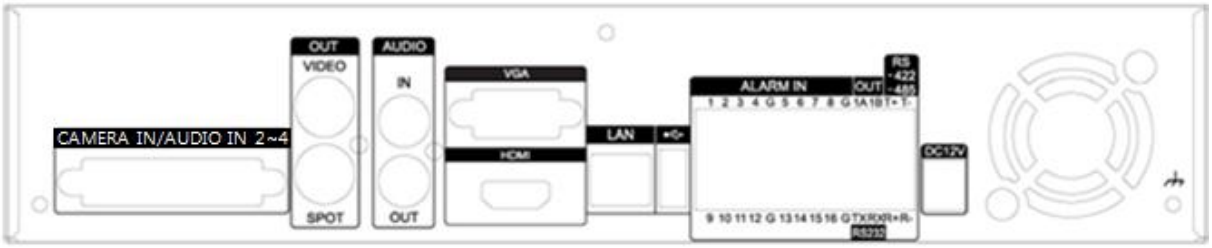
<4ch>



<8ch>



<16ch>

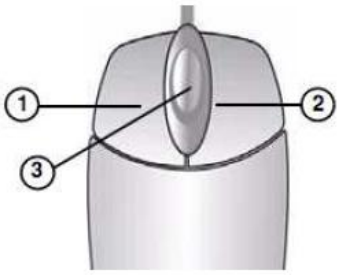


1) CAMERA IN(4ch/8chモデル): BNC入力 (カメラ 1~4、1~8)
   CAMERA IN/AUDIO IN 2~4(16chモデル): 16ch→映像入力、2ch~4ch→音声入力
2) OUT: VIDEO – BNCコンポジット出力、SPOT – スポット出力
3) AUDIO: IN - 1ch 音声入力、OUT - 1ch 音声出力
4) VGA: VGAモニター出力
5) HDMI: HDMIモニター出力
6) LAN: RJ-45イーサーネットポート
7) USB: USBメモリー、マウス接続
8) ALARM IN: アラーム入力
9) OUT: アラームリレー出力
10) RS-422/485 : PTZカメラ制御
11) RS-232C : 開発用(ご使用できません)
12) POWER : DCアダプター接続

3. リモコン

電源
キャンセル/OSD削除
メニュー
分割画面
録画
決定/ズーム
数字&アルファベット
POWER
CANCEL/ESC
MENU
ENTER/ZOOM
DISPLAY
REC
早戻し/情報
再生
早送り/ログ
PTZ/コマ戻し
停止
ABC
DEF
GHI
JKL
MNO
PQR
STU
VWX
YZ@
時間検索
記号
スペース
10+

4. マウス制御



マウスでライブ監視やDVR設定を行います。

1) **左クリック** –
   ダブルクリック：1画面、分割画面表示に切り替えます。
   クリック：メニューや詳細項目を選択します。
2) **右クリック**- メニュー画面を表示させます。
3) **スクロールホイール:** メニュ項目の設定値を調整します。

5. マウス制御用仮想キーパッド

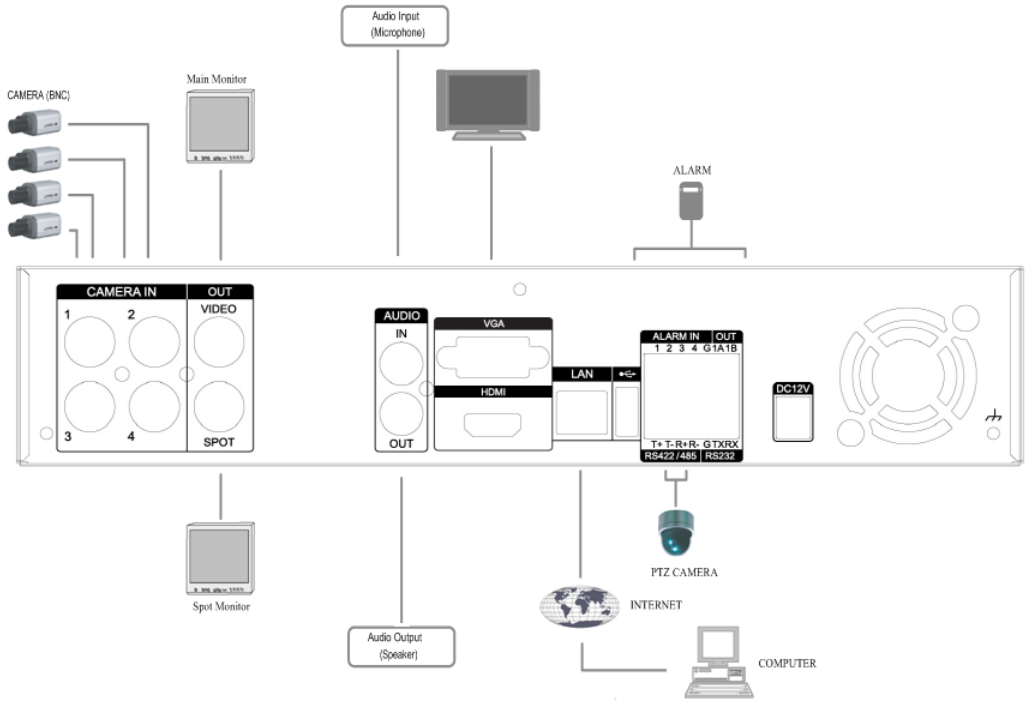
このDVRはマウスで制御可能なオン・スクリーン仮想キーパッドを提供します。ご使用になる前USBポートにマウスをつなげてください。ライブや再生モードでマウスの右ボタンをクリックすると下のように仮想コントローラーが表示されます。下の仮想キーパッドは実行されているタスクによってそれぞれ違う位置、ボタンで表示されます。

<パスワード >

<再生>

II. 設置 & 接続

1. カメラ、モニタ、音声、アラーム・センサー、電源コード



2. ネットワーク接続用PCのシステム条件

	最低	推奨
OS	Windows XP SP3 以上	Windows 7 以上
CPU	Core2 Duo	I5
RAM	2G	4G
VGA	PCI-E 256M	PCI-E 512M
DIRECTX	DX9.0 サポート	DX9.0 サポート
ネットワーク	100M ETHERNET LAN	100M ETHERNET LAN
HDD	100G	500G

<おことわり>

DVRの接続と遠隔監視はPCのインターネット接続設定にも依存します。 本機とネットワーク機器等、他社製品との間で生じる相性問題について、弊社では責任を負いません。

III. クイック・スタート・ページ

管理者で初期設定されているパスワードは“**000000**”です。

EMSソフトウェアのユーザーIDとパスワードの初期設定は下のようです。

ユーザーID：**admin**

パスワード：**0**

初期メニュー

最初メニューボタンを押すと初期メニュー画面が表示されます。各アイコンを選択し
詳細設定メニュー、時間検索、外部装置検索、ログ、再生、情報、ズーム、電源、PTZカメラ制御、
分割画面、バックアップメニューへ入ります。

日時設定

初めてDVRの電源を入れたとき、日時の初期設定は２００９年1月1日、木曜日、01：00：00に
セットされます。DVRをご使用になる前に、日時を設定することが重要です。

IV.ライブ監視

1. 表示概要

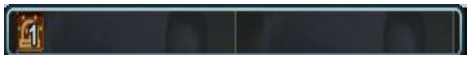
1. **録画モード** 1 2 4

   録画状態によってチャンネル番号の背景色は異なります。

   1) 赤 - イベント(モーション/アラーム)録画
   2) 黄 – ノーマル録画
   3) 黒 - 録画なし

2. **イベント・インジケーター** (1) (2) (3)

   (1) アラーム・センサーによって、アラーム入力端子がトリガされたことを示します。

   ＊リモコンの”上”ボタンを押すと表示されます。
   またはフロントの”アイコン表示”を　2秒間長押しても表示されます。
   アラーム・ウィンドウを見せるにはリモコンの[上]ボタンを押します。
   このボタンでアラーム・ウィンドウを見せたり隠したりできます。

   (2) モーション感知を示します。 [キャンセル] ボタンを押すと消えます。

(3) 録画中のビデオロスを示します。[キャンセル]ボタンを押すと消えます。

3. ステータス・バー

(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7)

(1) 録画状態を示します。録画中には赤色に変化します。
アイコンをクリックし録画開始、停止します。

(2) 再生状態を示します。再生中には緑色に変化します。
アイコンをクリックし再生、停止します。

(3) アイコンをクリックしメニュー、ログ画面を消します。

(4) ログリストを表示させます。

(5) ログイン状態を示します。( ) A：管理者、U：ユーザー

(6) 音声録音中には青色に変化します。

(7) ネットワーク経由のアクセス数を表示します。.

: 日付、時刻を表示します。.

(8) (9) (10)

:.

(8) USBデバイスが検知されるとアイコンが白色に変化します。

(9) HDD容量を表示します。空き容量が5GB未満の場合、リサイクルアイコンが表示されます。

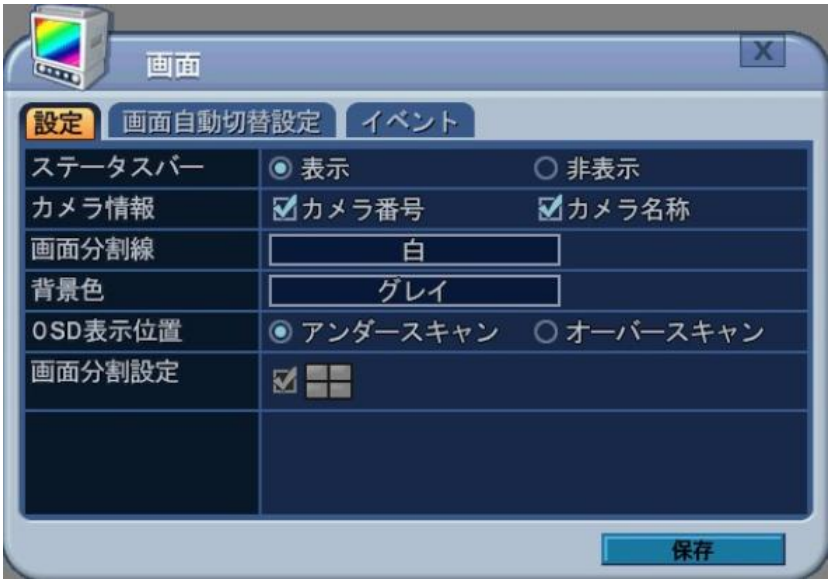
(10) 録画可能期間を表示します。設定が変ると可能時間も変化します。

2. 分割画面表示および画面自動切替

2.1. 1画面表示

１画面をアップで全画面表示したい場合は、希望するカメラ番号に対応する数字ボタンを押します。

2.2. 分割画面表示と画面自動切替

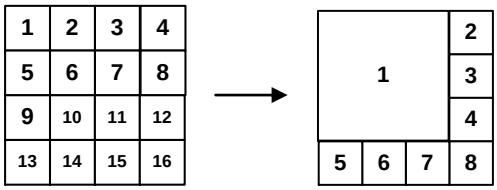


1) **[画面分割]**ボタンを押すと分割画面表示になります。画面分割設定で選んだ順序によって切り替わります。
2) １画面自動切替を開始するには**[画面分割]**ボタンを２秒間押します。
3) 自動切替モードおよび画面切替時間は、プログラム可能です。これらの設定は“画面自動切替設定”で行います。

3. 分割画面用クイックボタン

3.1. クイック・マルチ・分割画面変換

- リモコンのF1ボタンと<数字ボタン>を押します。
  F1ボタンを押して8を押すと８チャンネル・モードで表示されます。



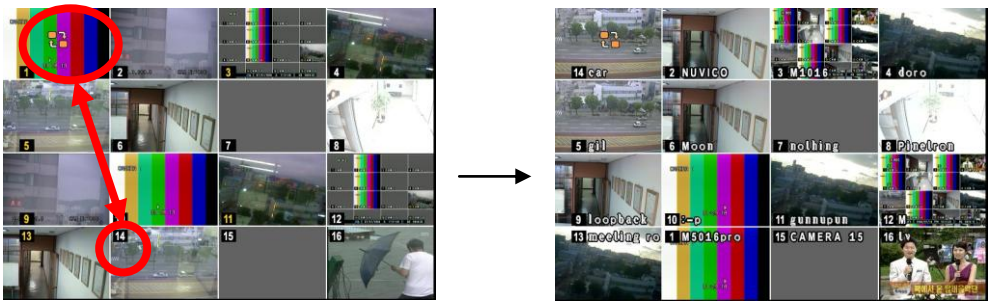
<*注意*> ただし6,4,8,10,13画面分割モードが<画面分割設定>で
チェックされていないと表示できません。

3.2. 画面移動

6,7,8,9,10,13,16画面分割モードでカメラの画面を移動することができます。

① リモコンの**F2ボタン**を押します。 マークが表示されます。

② 移動したいチャンネルの数字を押します。

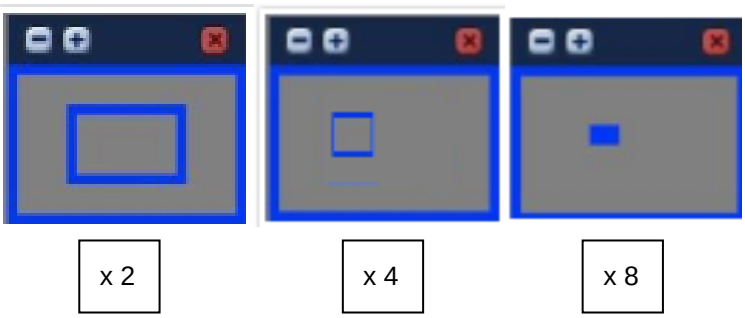


③ 変更を保存して抜けるには[保存]ボタンを押します。
変更を保存せずに抜けるには[メニュー]や[キャンセル]ボタンを押します。
再度チャンネルを配列するには**[画面分割]**ボタンを押します。

4. ズーム機能

ライブ監視の時、 画面の見たい部分を拡大して見ることができます。

1. デジタル・ズームを働かせるには、拡大したいカメラの映像を1画面表示にします。
2. リモコンの**[ズーム]**ボタンを押します。下のようなズーム・エリア・ボックスが表示されます。



3. 方向ボタン[▲▼◀▶]を使い、ボックスを希望する位置に移動します。
4. [決定]ボタンを押すとズーム・イン、ズーム・アウトします。
5. [キャンセル]ボタンを押すと通常モードに戻ります。

<注意>

- 分割画面の状態でズームボタンを押した場合には、ズーム機能は働きません。

V. 操作

1. ログイン/アウト

DVRを操作するには有効なパスワードが必要です。ログイン・アカウントとパスワードの初期設定は管理者と“**000000**”です。

<注意> DVRを設置する際には、お客様独自のパスワードに変更することをお勧めします。
参照→[システム設定]

1. ログイン
   1) フロントパネルまたはリモコンの電源ボタンを押します。
   2) DVRの電源が入るとDVR状態をスキャンします。
   3) ５０秒程度の起動の後、ライブ監視スクリーンが表示されます。ただ不良のHDDが検知されると長引く可能性があります。DVRは自動的に直すよう作動しますが、警告メッセージが表示されます。
   4) フロントパネルまたはリモコンのログインボタンを押します。マウスを使い　クリックすると、ログイン・ダイアログ・ボックスが現れます。
   5) ログイン アイコンがステータス・バーに表示されます。

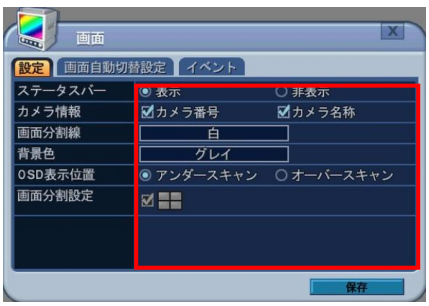
2. ログアウト
   フロントパネルまたはリモコンのログインボタンを押します。またマウスを使い画面上でアイコンをクリックすると、ログアウトされます。

2. メイン・メニューの概要

1. 管理者やユーザーアカウントでDVRにログインします。
   * ユーザーの初期権限では[ディスクとシステムメニュー]に接近できません。
2. フロントパネルまたはリモコンの**[メニュー]**ボタンを押します。画面上でマウスを右クリックしてもメニューが表示されます。
3. 方向[▲▼◀▶]ボタン、マウスを使い希望するメニューを選択します。

4. メニューに入り、下位メニューを見るには[決定]ボタンを押します。
   またはマウスでクリックします。
5. 左右[◀▶]ボタンで下位メニューを選択します。

6. メニューは左の項目と右の詳細で表示されます。方向[▲▼◀▶]ボタンでカーソルを移動します。
7. **[−、＋]**ボタンまたはマウスで値やオプションを変えます。

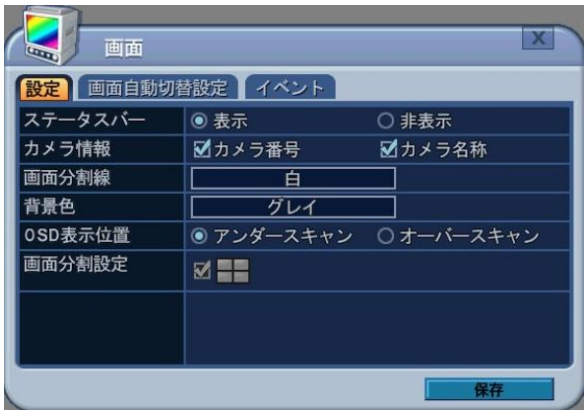


8. 変更を保存するには[保存]ボタンを押します。
   保存せずにメニューを抜けるには[メニュー]や[キャンセル]ボタンを押します。

VI. 設定

1. 画面

1.1. 設定



1. メニューは左の項目と右の詳細で表示されます。方向[▲▼◀▶]ボタンでカーソルを移動します。
2. [-、＋]ボタンまたはマウスで値やオプションを変えます。

項目	調整
ステータス・バー	• メイン・モニタ下部のステータス・バーの表示・非表示を選択します。
カメラ情報	• オン・スクリーン・ディスプレーを選択するとカメラ番号やタイトルが分かります。
画面分割線	• カメラ映像間の分割線を選択します。 **[グレイ → 白 → 青 → 黒 →ダークグレイ]**
背景色	• 映像信号のない状態の背景色を選択します。 **[グレイ → 白 → 青 → 黒 →ダークグレイ]**
OSD 表示位置	• メイン・ビデオはVGAとアナログ・モニターで出力されます。またビデオは両方同時に表示できます。モニターのオン・スクリーン・ディスプレー調整を選択します。 - アンダースキャン: CCTVモニターに適合 - オーバースキャン: VGAモニターに適合
画面分割設定	• 画面分割モードの設定により順序が変わります。

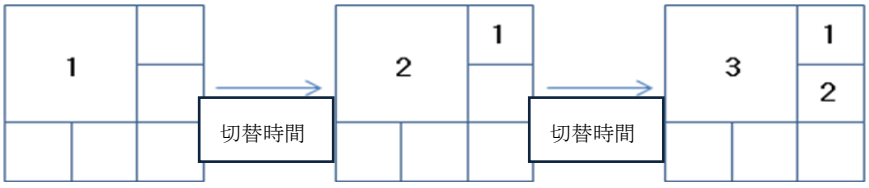
3. 変更を保存するには[保存]ボタンを押します。
   保存せずにメニューを抜けるには[メニュー]や[キャンセル]ボタンを押します。

1.2. 画面自動切替設定

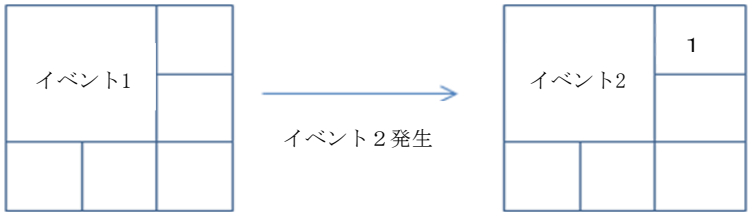
1. メニューは左の項目と右の詳細で表示されます。方向[▲▼◀▶]ボタンでカーソルを移動します。

2. 設定

   1) デバイス: 各モニターは違う順序で配列できます。
      [メイン → スポット1]
   2) 画面切替時間: **[決定]**使い、画面分割モードまたは各カメラの切替時間を選択します。
      [1秒 ~ 30秒]
   3) モード: スイッチモードで表示する画面配列を選択します。
      a. **順次:** 自動切替
      b. **シフト:** 切替時間の後、選択されたカメラが表示されます。



      c. **イベント**: イベント・モード設定の後、イベントが検出された特定のカメラが１画面表示またはマルチ画面表示で現れます。



4) 画面分割設定: 希望する自動切替モードを選択します。

<ノート>スポットモニターではできません。

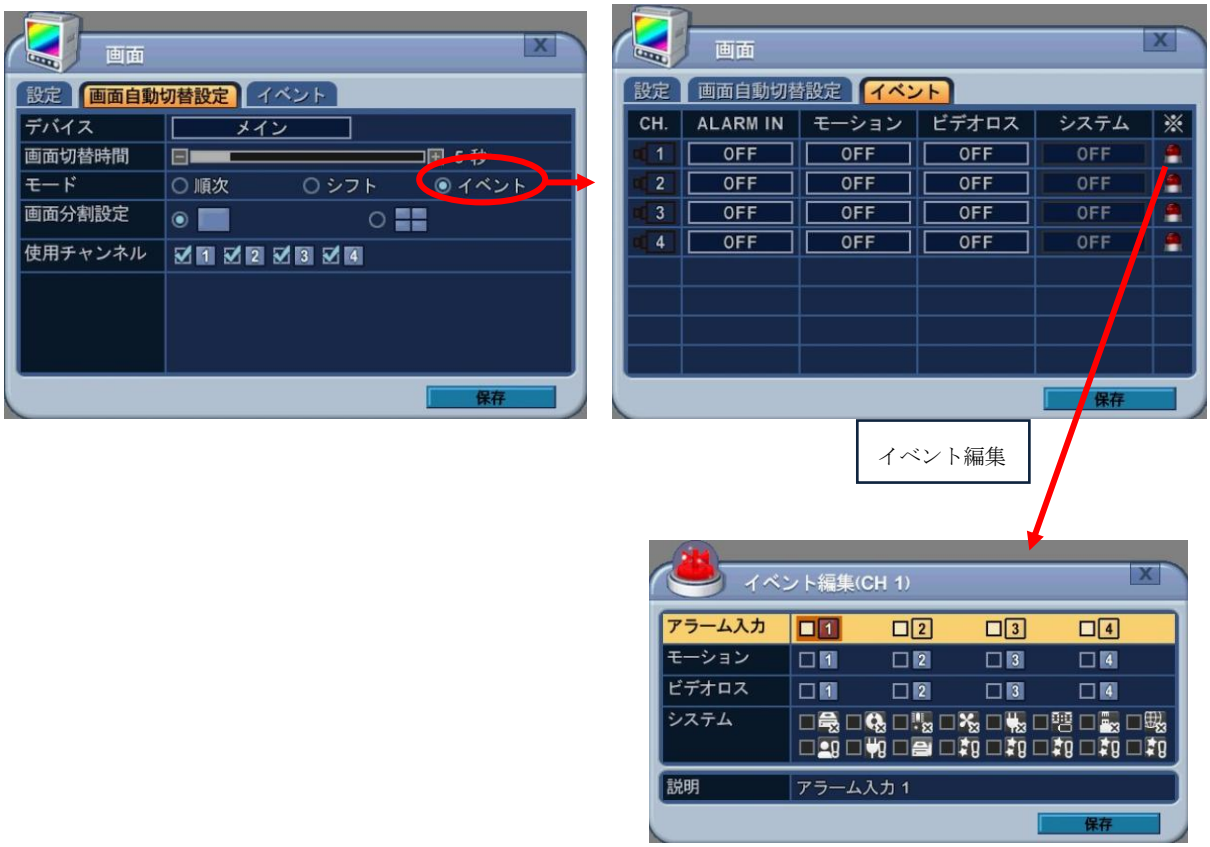
5) 使用チャンネル: 自動切替のときに使うカメラを選択します。

3. 変更を保存するには[保存]ボタンを押します。
保存せずにメニューを抜けるには[メニュー]や[キャンセル]ボタンを押します。

4. メインモニターで画面自動切替を表示するには**[画面分割]**ボタンを２秒間押します。
スポットモニターでの画面自動切替は**[スポットアウト]**ボタンを押し、
次に**[画面分割]**ボタンを２秒間押し続けます。

1.3. イベント

モード項目の<イベント>を選択します。メニューが現れた後、アラーム、
モーション、ビデオロス(映像信号なし)などを選択します。



設定されたアラーム、モーション、ビデオロスなどが発生すると、該当画面が表示されます。

2. カメラ

カメラのモーション検出, プライバシーゾーン指定、PTZ使用またはビデオ調整
(輝度、コントラスト、カラー) などを設定します。

1. カメラメニューへ入ります。
2. 方向[◀▶]ボタンまたは数字ボタンで希望するカメラを選択します。
3. メニューは左の項目と右の詳細で表示されます。
4. 変更を保存するには[保存]ボタンを押します。
   保存せずにメニューを抜けるには[メニュー]や　[キャンセル]ボタンを押します。

＜カテゴリ：エリア＞

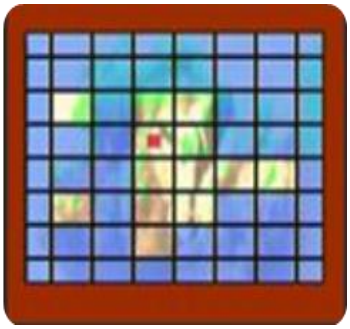
＜カテゴリ：カメラ＞

2.1 カテゴリ：エリア

１．**感度設定**：モーション検知するときの感度を設定します。
1(低感度) ~ 20(高感度)まで設定できます。
初期設定は１０レベルになっています。

２．**エリア設定**: モーションを検出する画面上の範囲を設定します。
現在のビデオ映像に重ねて表示します。初期設定ではエリアが選択されていません。

- ：全て選択 、 ：全て削除 、 ：特定範囲を選択



特定範囲を選択するのは次のように行ってください。:
フロントパネルまたはリモコンの方向ボタンで範囲を決めて[+]ボタンを押します。選択されたエリアは青に変わります。

3．**プライバシー保護**：画面に表示させたくないエリアが設定できます。
選択されたエリアはライブ画面や、録画、再生で表示されません。

- ：全て削除 、 ：特定範囲を選択

4．PTZ

PTZデバイスはDVRの背面のRS-422/485ポートに接続されます。複数のPTZカメラの場合、デージーチェーン方法で接続します。このDVRでは多数のPTZカメラをべつべつ操作することができます。

[設定]ボタンを押し、PTZ設定メニューへ入ります。メニューは左の項目と右の詳細で表示されます。

a. 通信設定
: カメラモデルを設定し、相応するボーレートとコントロールID(アドレス)を入力します。

b. ツアーグループ: 事前にプログラムされたPTZプリセットの自動切替に従い、カメラを移動させます。詳しくは**<パン/チルト/ズーム制御>**をご参照ください。

５．**カメラタイトル：**各カメラの名称を割り当てます。

a. カメラ名称のガイドライン

- 文字: AからZ、0から9、 特殊文字はネットワークで利用できます。
- 長さ: 空欄を含め12半角

b. 仮想キーパッドまたはリモコン、フロントパネルの数字ボタンを使い、カメラタイトルを入力します。

<仮想キーパッド>

No	1回押し	2 回押し	3 回押し	No	1 回押し	2 回押し	3 回押し
1	A	B	1	9	Q	R	9
2	C	D	2	0/10	S	T	10
3	E	F	3	11	U	V	11
4	G	H	4	12	W	X	
5	I	J	5	13	Y	Z	
6	K	L	6	14	.	@	
7	M	N	7	15	-	_	
8	O	P	8	16	スペース		

<リモコンの文字入力 >

No	1st	2nd	3rd	4th	No	1st	2nd	3rd	4th
1	A	B	C	1	6	P	Q	R	6
2	D	E	F	2	7	S	T	U	7
3	G	H	I	3	8	V	W	X	8
4	J	K	L	4	9	Y	Z	@	9
5	M	N	O	5	10/0	.	-	_	0

<フロントパネルの文字入力 >

2.2 カテゴリ：カメラ

カメラのビデオ調整を行います。

項目	初期設定	調整
輝度	50%	• [-,+]ボタンを使い調整します。
コントラスト	50%	• [-,+]ボタンを使い調整します。
カラーレベル	50%	• [-,+]ボタンを使い調整します。
彩度	50%	• [-,+]ボタンを使い調整します。

3. 録画

3.1. 設定

1. メニューは左の項目と右の詳細で表示されます。
2. [- / +]ボタンやマウスで設定します。
   1) **予約録画使用**: ナイト・ゾーンを活性化・非活性化します。初期設定はオフになっています。
   2) **起動時録画**: 起動時、録画ボタンを押さなくても録画します。
   3) **上書き録画**: HDDの録画方法を決めます。
      - ON: 上書き録画します。(初期設定)
      - OFF: HDDの残量かないと録画を中止します。
   4) **自動削除期間**: HDDのデータの自動削除を設定します。選択した期間が経つと削除します。
      [なし → 12時間 → 1日~ 6日→ 1週間 ~ 4週間 → 30日]
   5) **事前録画時間**: イベント録画の開始前の録画時間を選択します。
      [5秒 ~ 300秒] 初期設定は 5 秒になっています。
   6) **事後録画時間**: イベント録画の終了後の録画時間を選択します。
      [5秒 ~ 300秒] 初期設定は 5 秒になっています。

   <ノート> イベント録画中、また違うアラーム/モーションが検出されると録画時間が延長されます。

3. 変更を保存するには[保存]ボタンを押します。
   保存せずにメニューを抜けるには[メニュー]や[キャンセル]ボタンを押します。

3.2 解像度 & 録画速度

- チャンネル毎、解像度と録画速度が設定できます。
- “画面分割” ボタンを押すと、設定はチャンネル全体に適用されます。
- 設定が行われている間、使用している録画フレームは自動的に計算、表示されます。合計が最大録画フレーム数を超えると、警告メッセージがポップアップされます。また最後のチャンネルの設定は消えます。

3.3. ノーマル録画

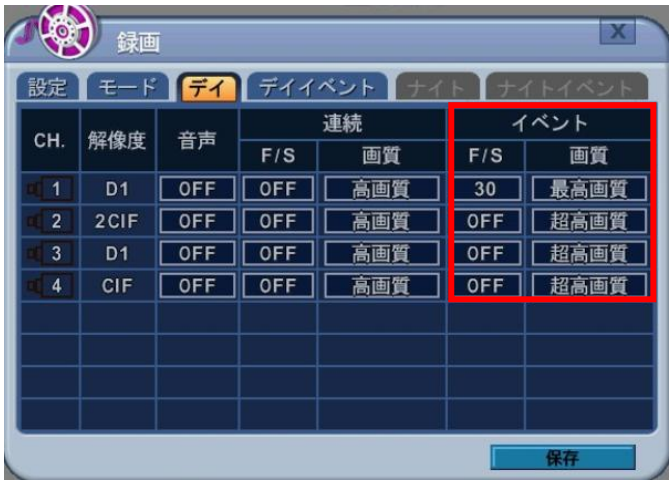
DVRは、工場出荷時に初期設定されています。そのためDVRを設置して録画ボタンを押すだけで、すぐに録画ができます。初期設定では、音声、アラー ム、モーション録画は offになっています。

DVRは継続してビデオデータを録画します。録画設定はノーマル録画に適用されます。各カメラでそれぞれ設定ができます。他のチャンネルに同じ設定を適用するには **[画面分割]**ボタンを押してください。

項目	調整
音声	• 音声録音可否を選択します。(ON/OFF)
F/S	• 各カメラの録画速度を選択します。(コマ数)
画質	• 各カメラの録画画質を指定します。 最高画質 → 超高画質 → 高画質 → 中画質 →低画質

3.4. イベント録画

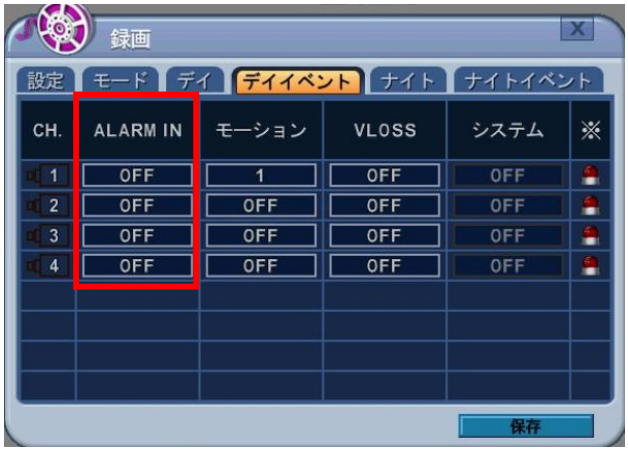
カメラ毎に違うイベント録画設定ができます。イベント項目で録画速度と画質を選択します。



[デーイベント]タブでイベント録画に使用するアラーム、モーション、　ビデオロスを選択します。

1) アラーム録画

１個のアラームは１個のカメラ・チャンネルに設定されますが、１個のカメラ・チャンネルには複数のアラーム入力ができます。



a. **[決定]**ボタンまたはマウス・ホイールで値やオプションを選択します。
b. **[※]**表示は多数のアラーム入力を示します。
c. アラーム入力/出力に関しては[デバイス/アラーム]を参照してください。

2) **モーション録画**

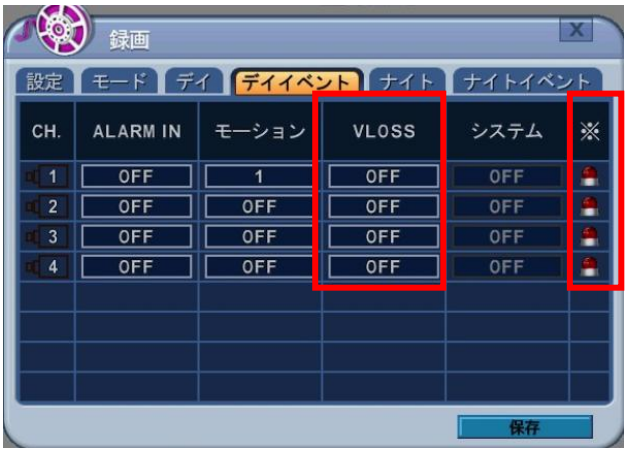
一つのモーション検出は１個のカメラ・チャンネルに設定されますが、１個のカメラ・チャンネルには複数のモーション検出ができます。

a. **[決定]**ボタンまたはマウス・ホイールで値やオプションを選択します。
b. **[※]**表示は多数のモーション検出を示します。
c. モーション設定は[カメラ]メニューを参照してください。

<Note> ビデオ入力信号や周辺環境のため、DVRのモーション検出が正常作動しない場合があります。

3) マルチ・イベント録画

a. **ビデオロス(映像信号なし)**：一つのビデオロスは１個のカメラ・チャンネルに設定されますが、１個のカメラ・チャンネルには複数のビデオロス機能ができます。



b. **イベント編集**

[決定]ボタンを押し、マルチ・イベントを編集します。メニューの左側にはオプションが右側には詳細設定項目が表示されます。リモコンまたはフロントパネルの方向[▲▼◀▶]ボタンでカーソルを移動します。

リモコンの[- / +]ボタンまたはマウスでオプションを選択します。
イベント編集ではシステムメニューを使用できません。

3.5 ノーマル(継続) + イベント(モーション/アラーム)録画

ノーマル録画とイベント録画は同時に設定できます。ノーマル録画中にイベントが発生すると、イベント録画に切り替わり、メニューで設定した画質と速度で録画されます。

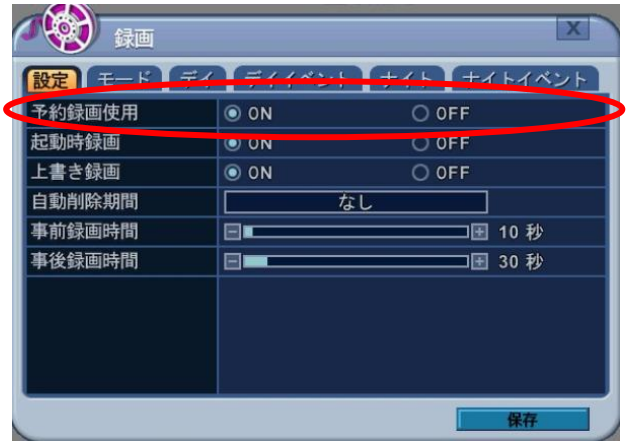
<例>

録画ボタンを押すことによって最高画質の画質と30F/Sの速度でノーマル録画が開始されます。イベントがトリガーされると、超高画質の画質と30F/Sの速度で録画されます。イベント録画が終わると、ノーマル録画に切り替わります。

<ノート> [デイイベント]タブで、モーション、アラーム、ビデオロスなどのイベントを選択します。

4. 予約録画

予約録画をONにすると、特定の日付設定だけではなくユーザー独自の昼や夜を設定できます。予約録画では時間、カメラ、録画速度やイベントなどを設定できます。予約録画をONにして、ナイトモードを活性化します。



4.1. 予約録画設定

スケジュールチャートは定義された録画モードをグラフで表示します。ナイトモードが初期設定になっています。 予約録画が設定された場合に限ってスケジュールが表示されます。

* デイ(黄): 昼設定を行います。
* ナイト(緑): 夜設定を行います。
* 録画休止(青): 画面表示されますが、録画しません。

1) 方向[▲▼◀▶]ボタンを使って移動します。
2) 各項目へ移動し、[決定]ボタンまたはマウスで選択します。
3) 下のように詳細メニューが表示されます。

a. [- / +]ボタンまたはマウスで値を変えます。
   - モード：**[ナイト] →[デイ] →[非録画]**
   - 開始: 録画開始時刻
   - 終了: 録画終了時刻　録画終了時刻は開始時刻の先または同じ時刻では動作しません。必ず開始時刻の後に設定してください。

b. 変更を保存するには[保存]ボタンを押します。
   保存せずにメニューを抜けるには[メニュー]や[キャンセル]ボタンを押します。

4) 予約設定のコピー
   a. 方向[▲▼◀▶]ボタンでカーソルを移動します。(日 – 土)
   b. 希望する設定で[画面分割]ボタンを押します。

4.2. 休日設定

設定した予約録画と別度日付を決め設定することができます。平日のスケジュールと重なる場合、休日設定が優先します。

1) 方向[▲▼◀▶]ボタンでカーソルを移動します。
2) [- / +]ボタンまたはマウスで項目を選択します。
3) [- / +]ボタンまたはマウスで値を変えます。
   - モード：**[OFF] →[デイ] → [ナイト] →[非録画] → [日~土] →[カスタム]**
   - 月/日: 休日開始の日付
   - 日数: 休日持続期間[1日から 15日間]

5. ディスク

5.1. ディスク管理

ディスク・マネージャーではハード・ディスクのフォーマットとバックアップやミラーリングなどのハード・ディスクの設定を行います。

1. **選択**
   1) デバイス: 装着されたHDDのリストが表示されます。
   2) 上下[▲▼]ボタンで移動した後、**[決定]**ボタンまたはマウスで選択します。
   3) 容量: 設置されたHDDの情報を示します。サイズは現在使用されていない各容量を示します。
   4) 状態:
      a. 不明: 新しく設置されたディスク
      b. 空き: フォーマットされ、現在使用されていないディスク
      c. 録画データ: 録画データがありますが、現在使用されていません。
      d. バックアップデータ : HDDにバックアップデータが保存されています。
      e. Other data: AVIファイルを含め、録画データやバックアップデータではないことを示します。
      f. ディスク損傷 : ディスクに破損があることを表せます。

   <ノート>: 非接続されたディスクはディスク・メニューから消えます。
2. **動作** :
   1) **なし**: 設定を変更しません。
   2) **録画ディスクに指定**: 選択されたHDDを初期化します。ドライブをフォーマットし、全てのデータを削除します。HDD容量を増やすためには外部SATA HDDを接続します。 フォーマットが終わったHDDは[録画ディスク]で表示されます。
   3) **バックアップ用フォーマット**: メディアまたは外部HDDにバックアップするためにフォーマットします。
   4) **録画ディスクリンク**: 使われていたHDDをデータを削除せずにリンクします。

   <ノート> a. 録画中のHDDがあるとリンクされません。

b.同じモデルで使用していたHDDのみリンクできます。
c.同じ時間帯のデータがあると、リンクされません。

3. **[+]**または**[決定]**ボタンを押すと、選択したアクションが開始されます。
4. 変更を保存するには[保存]ボタンを押します。
   保存せずにメニューを抜けるには[メニュー]や[キャンセル]ボタンを押します。

5.2. 録画用ディスク

現在使用されている各ドライブの情報を示します。

1. 容量、範囲
   : 現在の録画データの量、HDDサイズを示します。また保存されているデータの範囲と録画有無を示します。
2. デバイス
   録画用に使用されているディスクを表示します。
3. 状態
   1) 安定 : HDDが安定しています。
   2) 回復: スレーブディスクにコピーしています。
   3) 損傷: 不安定しています。
4. 動作： HDDを除去する場合選択します。

5.3. S.M.A.R.T情報

不良セクター、温度、HDD作動時間などの情報がわかります。HDD製造社により
スマート情報は少し異なります。

6. ネットワーク

お客様がインターネット接続契約で固定IP契約をしている場合には、契約期間中は一定のIPアドレスを利用可能です。動的IPアドレスでのご契約の場合には、モデムを接続する度または、ある一定の時間毎にIPアドレスが変化します。多くのインターネット・サービス・プロバイダが、両方のサービスを提供していて、このマニュアルでは両方でのDVRの使い方を説明します。

6.1. IP設定

1. **固定IP**

固定IPが選択されると次の設定ができます。

1) **IP アドレス** ： 固定IPアドレスを入力します。
2) **ネットマスク** ： サブネット・マスクのIPアドレスを入力します。
3) **ゲートウエー**: インターネット・ゲートウエー・サーバーのIPアドレスを入力します。
4) **第１DNSサーバー**: DNS名を確認します。
5) **第２DNSサーバー**: バックアップDNSサーバーのIPアドレスを入力します。第１DNSサーバーに問題があるとき、このサーバーが使われます。

<注意> DNSサーバーを正確に設定しないと、メール伝送に障害が生じます。

2. **IP自動割当:** DHCP

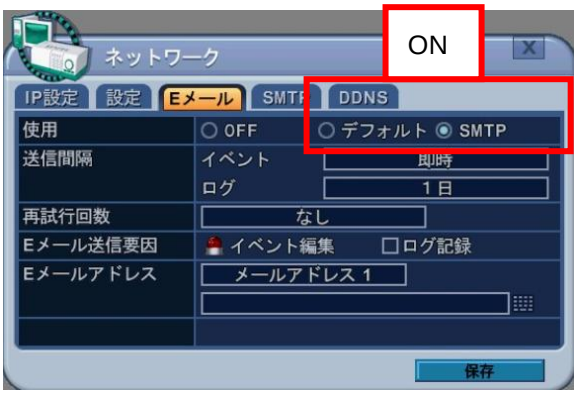
ローカルDHCPサーバー(例:ローカル・ルーター)があると自動設定されます。DHCPがONになると、IPアドレス、ゲートウエー、サブネット・マスクがDHCPサーバーにより割り当てられます。(例:ローカル・エリア・ネットワーク・ルーター)

6.2. 設定

1. アクセス･ポート: 0001～9999を選択します。
   インターネット上でDVRとコミュニケーションするポート番号を入力します。初期設定は7000です。1,000以上のポート番号をお勧めします。
2. 使用帯域幅: クライアント接続に割り当てられたネットワーク・リソースを制限するネットワーク使用帯域幅を選択します。初期設定は[無制限]です。
   “ 4 KBPS~ 8 MBPS”から選択します。
3. アクセス・ブロック: - PING要求に、応答しません。初期設定は「OFF」
   - スキャン: EMSからのオートスキャンに応答しません。
4. ストリームモード: ネットワーク転送方法を設定します。
   1) 通信専用設定: 録画設定に依存せず、ストリーム特性項目から選択し転送します。
      CIF(360＊240)、7コマは変更できません。画質を選択します。
   2) 録画設定依存: 録画設定に従い、同一フレーム数＆画質で転送します。
5. ストリーム特性: 通信専用設定を選択するとメニューが活性化されます。
6. 自動ポート：オートポートフォーワーディンぐ 行います。

6.3. Eメール

このDVRはイベント発生の通知を伝送する設定ができます。アラームまたはモーションのようなイベントが発生するとEメールで知らせます。



基本提供されるDVR Eメールサーバーまたは個人Eメール設定が利用できます。

1. **使用** ： onまたはoffを選択します。**[− ＋]、[決定]**ボタンで選択します。
   1) デフォルト**:** 初期設定が提供されます。Eメール通知オプションとEメールアドレス設定メニューが活性化されます。
   2) SMTP: ユーザーのEメール設定を実行するSMTP構成タブが活性化されます
2. **送信間隔:** 選択した時間の後、Eメールが伝送されます。
   1) イベント ： [即時、10分、1時間、1日]
   2) ログ ： [1日、1週間後]
3. **再試行回数**: 転送失敗の際、再度転送する回数を決めます。
4. **Eメール送信要因:** 通知オプションでイベントを設定します。
   1) イベント編集: 各チャンネルでアラーム、モーション、ビデオロスの通知をEメールで行います。

   2) ログ記録: ログリストを伝送します。
5. **Eメールアドレス**: 5箇所までの指定されたEメールアドレスにEメール伝送できます。

6.4. SMTP

このメニューはEメールで <SMTP> を選択すると活性化されます。
次の設定はDVRメールサーバーをお使いにならない場合のみ必要です。

1. サーバー: Eメールサーバー名またはIP住所を入力します。
2. ポート設定 ： SMTPサーバーが通信するポート入力します。初期設定：25
3. 認証: Eメール・サーバに確証が必要な場合、<on>に設定します。
4. ユーザーID: SMTPサーバーのユーザーIDを入力します。
   (大文字で表現されますが、小文字で認識されます。)
5. パスワード: SMTPサーバーのパスワードを入力します。
6. テスト転送: 送信テストを行います。
7. 変更を保存するには[保存]ボタンを押します。
   保存せずにメニューを抜けるには[メニュー]や[キャンセル]ボタンを押します。

6.5. DDNS (ダイナミックDNS)

変化するIPアドレスの履歴を管理し、簡単にウェブで接続できます。

1. 使用 : DDNS ON/OFFを選択します。ONにする場合DDNSプロバイダーを選択します。
   1) **デフォルト:** 初期設定が提供されhttp://www.dvrhost.comでのDDNSサービスが利用できます。

   DDNSの<初期設定>を利用する場合には、設定する必要はありません。ホスト名はDVRから提供されます。リモコン[情報]ボタンを 押すと、ホスト名がわかります。

   例) http://G728475.dvrhost.com:7000(7000はポート)

   2) **DYNDNS**: 独自のドメインネームサービスまたは“dyndns.com”を利用します。

2. 初期設定を利用しない場合は、次の設定が必要です。
   1) ドメイン名: DDNSウェッブのドメイン・ネームを入力します。
   2) ユーザーID: ユーザーIDを入力します。
   3) パスワード: パスワードを入力します。
   4) アップデートテスト: 接続状態を確認するために[アップデート・テスト]ボタンをクリックします。

6.6 ルーター & ポートフォーワーディンぐ

大半のネットワークはルーターを通したインターネット接近を共有するシングルIPで構成されています。このIPアドレスはインターネット・サービス・プロバイダーによる外部(公共)固定IPアドレスまたはダイナミックIPアドレスです。

ルーターを通して、多数のパソコンやデバイスが同時にインターネットにアクセスすることができます。初期設定でのルーターでHypertext Transfer Protocol (HTTP, Port 80), File Transfer Protocol (FTP, Port 21), Telnet (Port 23), Post Office Protocol 3 (POP3, Port 110)が利用できます。

ルーターでネット上の訪問者を指定されたポートに誘導し、ファイヤーウォール問題を解決します。(ポート・フォーワーディンぐ) ルーターが特定ポートへの全てのインターネット要求をローカル・マシンに誘導します。ポート・フォーワーディンぐで内部デバイスが保護される中、外部訪問者はDVRに接続することができます。

「DVR接続の例」

ネットワーク	ルーター	DVR IP 設定	PC 接続ポジション ① LAN			PC 接続ポジション ② WAN		備考
			A	B	C	B	C	
固定 IP	使用	固定	○	△	X	★	★	
		DHCP	○	▲	X	☆	★	InfoのDVR IP確認とルーターの設定
	X	固定	○	○	○	○	○	
		DHCP						不可［ローカルDHCPサーバー必要］
DHCP	使用	固定	○	△	X	★	★	
		DHCP	○	△	X	★	★	InfoのDVR IP確認とルーターの設定
	X	固定						不可
		DHCP				△	△	PPPOEは支援不可

1) ロケーションの説明

A. LAN: ローカルIPから接続。ネットワーク内で接続する場合、システムのIPアドレスを入力します。(例 192.168.0.50)

B. WAN: DDNSから接続。 ネットワークの外部から接続する場合は、DDNSを利用します。(例 L123456.dvrhost.com).

C. WAN: IPアドレスで接続。ネットワークの外部から接続して固定IPアドレスを知っている場合、IPアドレスを利用します。(例 http://124.137.23.72:6000)

2) シンボルの説明

○：接続

x：接続不可

△: ルーターまたはネットワーク接続に制限あり

★：ポート・フォーワーディンぐ必要

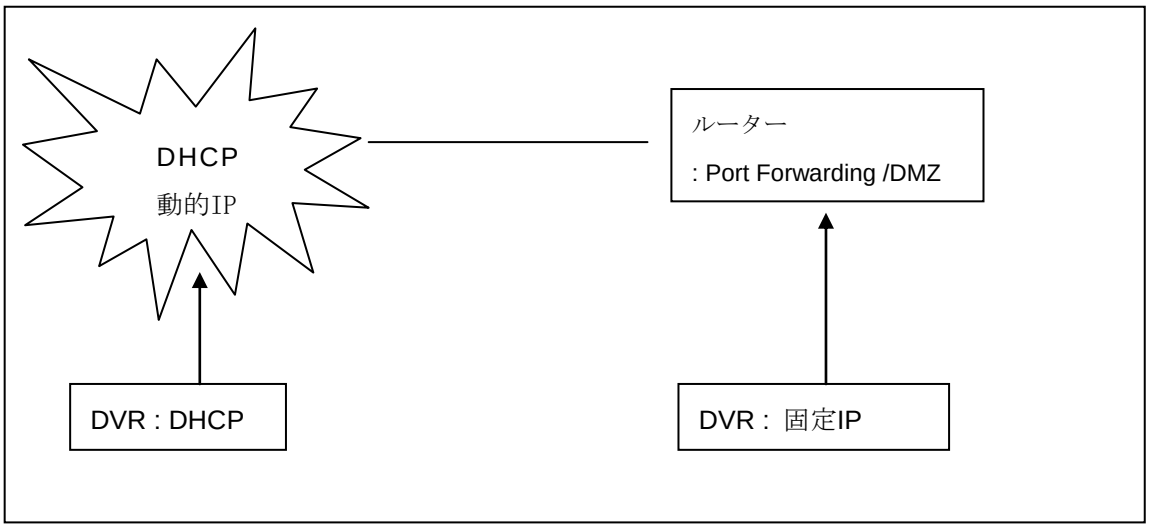
3) カラーの説明

黄 – お勧め

グレイ - 不可

白 – ルーターまたはネットワーク状態に依存

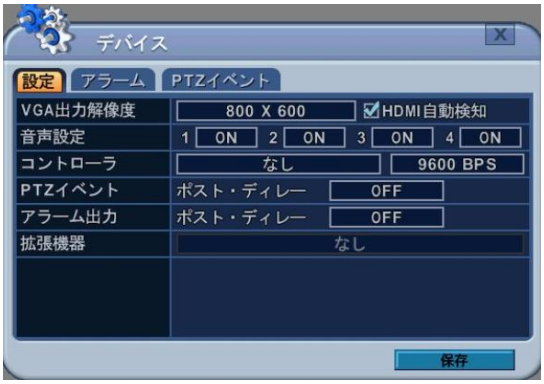
2. DHCPでのDVR接続



<ノート> 各ルーターのポート・フォーワーディンぐ設定は異なります。ルーター・マニュアルを参照してください。

7. デバイス

7.1. 設定



1. メニューは左側のオプションと右側の設定で表示されます。方向[▲▼◀▶]ボタンでカーソルを移動します。
   1) VGA 出力解像度: VGA出力画像を選択します。

      800*600 → 1024*768 → 1280*720 → 1280*1024

      → 1600*1200 → 1680*1050 → 1920*1080I

      ＜ノート＞

      i. 出力はHDMIとVGA両方へ適用されます。VGAモニターが高解像度を支援しないと、映像が見えませんので、ご注意ください。

      ii. HDMIとVGA出力を同時に確認される場合には解像度を低くしてください。

   * HDMI自動検知項目をチェックすると、最適HDMI解像度を自動検知します。

   2) 音声設定: 録音装置の使用可否をON/OFFで設定します。
      ビデオデータとは違い、音声データは終始リアルタイムで録音されますので、音声と画面にはすこしディレーが生じる場合があります。
   3) コントローラ: コントローラとボー・レートを選択します。
   4) PTZイベント：PTZイベント持続時間を設定します。
   5) アラーム出力：アラーム持続時間を設定します。
   6) 拡張機器 ： 現在ご使用できません。

2. 変更を保存するには[保存]ボタンを押します。
   保存せずにメニューを抜けるには[メニュー]や[キャンセル]ボタンを押します。

7.2. アラーム

一個のアラーム入力は一個のリレー出力に設定されますが、一個のリレー出力には多数のアラーム入力が割り当てられます。

1. 左右[◆▶]ボタンで下位メニューのアラームを選択します。メニューは左側のオプションと右側の設定で表示されます。方向[▲▼◆▶]ボタンでカーソルを移動します。
2. **入力:** 入力タイプを選択します。**[− ＋]** ボタンやマウスで値を変更します。
3. **出力**: リレー出力コントロール方法を選択します。: 自動/手動
   1) **使用:** 出力タイプを選択します。
   2) **無効:** リレー出力方法をターン・オフします。
      a. イベント(自動): イベント設定期間が満了するとリレー出力はターン・オフされます。
      b. マニュアル: リレー出力を“制御”でターン・オフします。
   3) **制御**

      [決定]ボタンを押し、複数のイベントを編集します。メニューは左側のオプションと右側の設定になっています。フロントパネルまたはリモコンの方向[▲▼◆▶]ボタンでカーソルを移動します。

-リモコンの[- / +]ボタンまたはマウスでオプションを選択します。

-説明：システムでチェックするアイコンの説明が表示されます。

- HDD ディスク・フェイル
- 録画システム・フェイル
- 温度警告
- ファン・ロック・警告
- 電圧警告
- リモコンのバッテリ交換警告
- 外部デバイス・イベント
- ネットワーク・リンク非接続
- 管理者ログイン
- 電源リカバリー
- ディスク・フル
- 補助イベント

4) ブザー: リレー出力とブザーの手動停止

4. ブザー
   1) 使用
      - **ON:** アラームがトリガーされるとブザーがなります。ブザーは録画時間中なり続きます。このブザーはアラーム出力と関係します。アラーム・ブザー機能はアラーム出力を“ON”にすると活性化されます。
      - **OFF:** アラーム・ブザー機能をオフにします。
   2) 無効**:** ブザーをターン・オフします。
      a. イベント(自動): イベントが終了するとブザーはターン・オフされます。
      b. マニュアル: ブザーを“制御”でターン・オフします。

5. 変更を保存するには[保存]ボタンを押します。
   保存せずにメニューを抜けるには[メニュー]や[キャンセル]ボタンを押します。

7.3. PTZ イベント

アラーム、モーション、ビデオロスなどのイベントが発生するとDVRはプリセット命令をPTZカメラに出します。PTZオプションを確認してプロトコルをカメラ・チャンネルと合わせます。

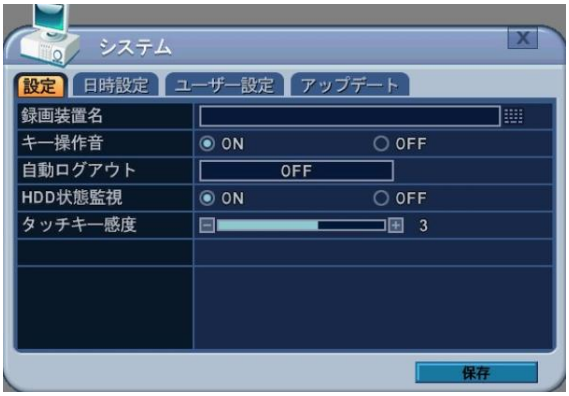
1. チャンネル: 希望するPTZカメラを選択します。
2. 有効: PTZアクション=>**[なし → 位置 → ツアー]**
   イベント検出時の番号またはツアー・グループをプリセットします。
3. 無効: イベント期間終了後のカメラ・ポジションを選択します。
4. イベント編集
   [決定]ボタンを押し、マルチプル・イベントを編集します。メニューは左側のオプションと右側の設定になっています。リモコンまたはフロントパネルの方向 [▲▼◀▶]ボタンでカーソルを移動します。

<ノート>PTZイベントでPTZカメラのモーション検出を設定しないでください。
信号伝送に問題が発生します。

5. 変更を保存するには[保存]ボタンを押します。
保存せずにメニューを抜けるには[メニュー]や[キャンセル]ボタンを押します。

8. システム

8.1. 設定



1. **録画装置名 ：** ネットワークに多数のDVRがある場合、DVR名で区別します。
2. **キー操作音 ：** キー音のON/OFFを選択します。DVRキー音は“ON”に初期設定されています。
3. **自動ログアウト** ： DVRの自動ログアウトが設定できます。初期設定は“OFF”
   [OFF → 1分→ 3 分→ 5 分→ 10分**]**
4. **HDD状態監視**:“ON”→ ディスクメニューでHDD情報を示します。
5. **タッチキー感度**: フロントパネルのタッチキーの感度を設定します。

8.2. 日時設定

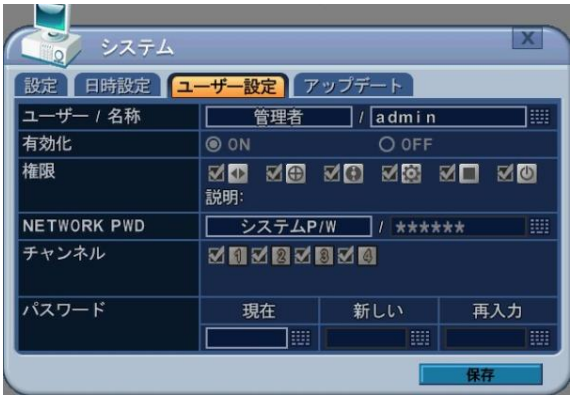
録画開始前に日時設定を確認してください。

1. 左右[◆▶]ボタンで下位メニューの日時設定へ移動します。メニューは左側のオプションと右側の設定で表示されます。方向[▲▼◆▶]ボタンでカーソルを移動します。[− ＋]、マウスで値を変えます。

1) **タイムゾーン**：<付録 1: タイム・ゾーン・チャート>を参照してください。DVRが位置されている時間帯を選択します。タイム・ゾーンにはサマータイムが初期設定されています。サマータイムが終了すると、標準時間に戻ります。（1 時間）
2) **日付表示形式:** 日付の表示形式を選択します。
[月/日/年度 → 日/月/年度 → 年度/月/日]
3) **NTP時刻同期:** DVRの時間はNTP(ネットワーク・タイム・サーバー)を通し、外部時間ソースに同一化できます。NTPオプションをONにすると，日時オプションが非活性化されます。
4) **NTPサーバー:** 公共または個人NTPサーバーを利用します。サーバーやドメインのIPアドレスを入力します。初期設定は公共サーバー“pool.ntp.org”です。
<ノート> 時間差 : 最低 64秒～ 最大 1024秒
5) **NTP同期テスト:** NTPサーバーでの時刻同期をテストします。
6) **日付 & 時刻 :** 現在の日付と時刻を入力します。

2. 変更を保存するには[保存]ボタンを押します。
保存せずにメニューを抜けるには[メニュー]や[キャンセル]ボタンを押します。

8.3. ユーザー設定

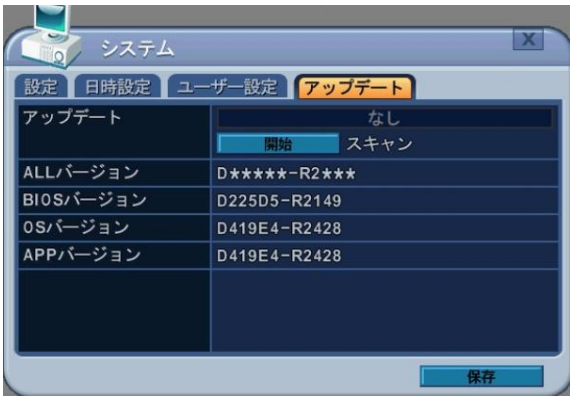


1. 左右[◆▶]ボタンで下位メニューの“ユーザー設定”へ移動します。メニューは左側のオプションと右側の設定で表示されます。方向[▲▼◆▶]ボタンでカーソルを移動します。[− ＋]、マウスで値を変えます。

   1) **ユーザー/名称**: DVRは管理者で初期設定されています。ユーザー1~5を選択し, **on**を押します。
      a. ユーザー名: 10半角まで。
      b. 使用文字: アルファベットA ～ Z、数字 0 ～ 9
   2) **有効化**：ユーザー権限を設定するかを決めます。
   3) **権限**: 管理者の場合、各ユーザーの権限が設定できます。[再生, PTZコントロール、バックアップ、設定(ディスクとシステム以外)、録画停止、システム終了]
   4) **ネットワークパスワード**: 初期設定で管理者はネットワークのパスワードがありますが、ユーザーはネットワーク接近が不可になっています。
      [カスタム・パスワード]で新しいパスワードを設定することができます。
      a. パスワード: 14半角まで。
      b. 使用文字: アルファベットA ～ Z、数字 0 ～ 9
   5) **チャンネル**
      各ユーザーごとにライブ監視できるチャンネルが設定できます。
   6) **パスワード**
      新しいパスワード六数字を入力して、確認欄に再入力します。入力することに＊マークが表示されます。

2. 変更を保存するには[保存]ボタンを押します。
   保存せずにメニューを抜けるには[メニュー]や[キャンセル]ボタンを押します。

8.4. アップデート



1. 最新のファームウエア・ファイルをダウンロードしてUSBメモリ-にコピーします。

> ***<注意 >:*** ファイルが全部ダウンロードされているかご確認ください。

2. 前面パネルに USB を接続します。(録画中には録画を停止してください。)
3. 方向ボタンで移動し、[開始]ボタンを押します。次に**[+]**ボタンを押し、アップデート・ファイルを検索します。DVR が有効のアップグレード・ファイルを検知すると、アップデート・メニューが活性化されます。
4. **[決定]**ボタンでアップグレードファイルを指定します。
   バージョン情報が表示されますので複数のアップグレード・ファイルがある場合には画面のバージョン情報をご参照ください。
5. 方向ボタンで[開始]ボタンに移動し、**[+]**ボタンを押します。
   アップデートが始まると〝in progress 作業進行中”とのメッセージが表示されます。
6. アップデートが終わると、“Success 成功”メッセージが表示されます。[+]ボタンを押すとリブートします。Micom アップデートも行われた場合は、DVR からビープ音が鳴ります。

> ***ノート 1:*** アップデート中に電源を切ったり、ボタンを押さないでください。
> ***ノート 2.*** DVR アップデート前に販売先にご相談ください。

8.5. システム情報

システム情報にはモデル情報やMacアドレス、HDD状態などが表示されます。

リモコンの情報ボタンを押すと、システム情報が表示されます。次のページには方向ボタンで移動します。

VII. パン/チルト/ズーム制御

PTZ制御はPTZドーム・カメラが接続されたときに利用できます。PTZオプションは各カメラ・チャンネル毎、設定します。(カメラ・メニューの**PTZ制御**参照)
カメラ制御インターフェースの表示位置は、DVR前面またはリモコンのボタン位置と合っています。カメラ制御インターフェース・モードのときは、全てのボタンがカメラ制御関係の操作のために使用されます。

1. P.T.Z .メニュー

1) P/T/Z制御を有効にするには、制御したいカメラの1画面表示を選択します。
2) 次に**[P/T/Z/FOCUSカメラ制御]** ボタンを押します。下図のようにショートカット・メニュー・ボックスが表示されます。

<ノート>特定の制御に関しては参照ー>**Help Menu**(ヘルプ・メニュー)

ボタン	機能
 [決定] [キャンセル]	• [決定]ボタンを押すと**"HELP"**メニューが表示されます。次に**[決定]**や**[キャンセル]** ボタンを押すとヘルプ・メニューから抜けます。 • [キャンセル]ボタンを押すとカメラ制御の操作を中止します。
 [メニュー]ボタン	• P/T/Zカメラ制御インターフェースの、全機能を使用可能にする拡張メニューに切り替えます。もう一度このボタンを押すと、元の簡単なメニューに戻ります。

	• チルト＝上下移動の制御 • パン＝左右移動の制御
	• ズームイン・ズームアウトの制御

2. プリセット & ツアー

ボタン	機能
	プリセット位置設定：リモコンの **スポット アウト** カメラを希望の場所に動かします。 **プリセット設定** ボタンを押します。 「カスタム1」 が点灯します。 プリセット位置のために#をセットします。 **決定** を押すと保存して抜けます。
	プリセット選択： リモコンの **システム情報** ボタン **Go** ボタンを押します。 希望するプリセット#を入力し **決定** を押します。
	オート・ツアー開始：リモコンの **バックアップ** ボタン **オート・ツアー** ボタンを押します。 ＋ ボタンを押し、プリセットの範囲を入力し、**決定** を押します。 例えば、**オート・ツアー** ボタン+5 はPTZ カメラのプリセット1～5 の ツアーを開始します。

2.1 ツアーグループ

ツアーグループのプリセットでプログラムされたPTZプリセットの自動切替ができます。

1) 通信設定

モデルを選択し、ボーレートとコントロールID(アドレス)を入力します。適切なジャンパー設定のためにPTZカメラのメーカーのマニュアルを参照し、DVRとのプロトコルを合わせてください。

2) ツアー**:** 四つのツアーがプログラムできます。**[決定]**ボタンで値を選択します。

[グループ 1→ グループ 2 → グループ 3 → グループ 4]

3) 各ツアーグループの下位メニューです。メニューは左側のオプションと右側の設定で表示されます。

a. グループリスト**:** 最大10個のプリセット位置が設定できます。

b. プリセット番号 : 最初と最後のプリセット番号を入力します。

c. 画面切替時間: プリセットの切替待機時間を選択します。

d. 変更**:**ツアー・リストを追加、修正、削除します。

e. ツアーリストの追加をするには***b*** から **d** の段階を繰り返します。

3. カスタム機能

ボタン	機能
	PTZ カスタム機能 1; リモコンの 画面分割 ボタン
	PTZ カスタム機能 2; リモコンの ズーム ボタン
	PTZ カスタム機能 3; リモコンの カメラ制御 ボタン

4.自動パン / 自動チルト / 電源

ボタン	機能
	自動パン; リモコンの停止ボタン
	自動チルト; リモコンの早戻し(巻き戻し)
	電源 on / off; リモコンの早送り

5. PTZ カメラ・モデル – パン/チルト/ズーム カメラ・リスト

#	モデル名	3X	速度	プリセット	Go to	ツアー	パン	チルト	Pat	Me	Esc/ ENTER
1	PELCO, D	o	o	o	o	o	o		o	o	
2	RVT, EZ Protocol	o	o	o	o	o			o	o	o
3	PELCO, P	o	o	o	o	o	o		o	o	
4	Hitron, Fastrax 2	o	o	o	o	o			o	o	o
5	Bosch, Auto Dome										
6	MERIT LINLIN										
7	APPROMEDIA										
8	LG,MULTIXE CAM/DOME										
9	BBV,PROTOCOL V2										

<ノート> 速度 ：**0~8** ステップ

1 (低速) → 8 (高速)

VIII. 再生/検索

このDVRは二つの再生モード(再生、検索)ができます。 記録されたデータベースがら便利に希望する映像を検索して再生することができます。検索機能モードには日時検索、イベント検索、ログ検索があります。

1. 再生

ライブ監視や録画中に[PLAY再生]ボタンを押すと、最新のデータから再生を始めます。
録画された映像を全部再生して停止します。
再生中に逆戻り、一時停止、１X～１６X 再生、コマ送り/戻しなどが再現されます。

2. 時間検索

2.1 複数チャンネル再生

1. **[時間検索]**ボタンを押すと、時間検索テーブルが表示されます。
   データは色で分けられます。：イベント(赤) > ノーマル (黄)

2. **[+]**ボタンを使い、**日→時→分(5分) →分 (1分)**順で検索します。**[-]**ボタンを利用すると、逆順序で検索できます。
   マウスではホイールを使い、[+/-]操作ができます。
   <ノート> [Play再生]ボタンを押すと、データーの最後に移動します。
   [早戻し] や **[早送り]**ボタンを押すと次のページに移動します。
3. 全てのチャンネルをレビューするにはスロットで**[決定]**ボタンを押します。(マウス：ダブル・クリック)
4. DVRは16チャンネル・モードで再生します。画面表示モードを変えるにはチャンネル番号やディスプレー(画面分割)ボタンを押します。

2.2 イベント録画検索

時間検索テーブルに録画されたイベント録画データを検索します。

1. 方向ボタンで移動し、イベント種類を選択します。

2. [決定]ボタンを押して設定メニューに入ります。[+/-]ボタンで“イベント録画”を選択します。（初期設定されています。）

2.3 イベントソース検索

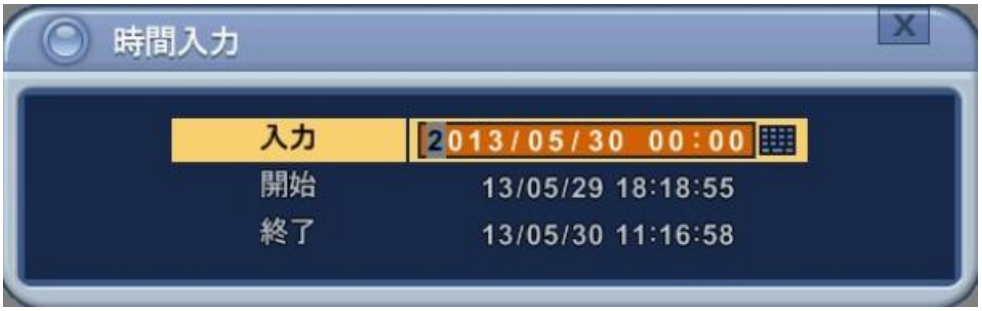
イベント検知録画映像の検索機能です。時間検索テーブルには選択されたイベントの検知された時間帯が表示されます。

2.4 モーション・エリア検索(1チャンネル再生)

指定したエリアで検知された録画データを検索します。

設定から抜けるには[キャンセル]ボタンを２回押します。 時間検索から選択された時間帯が表示されます。

3.簡単検索



1. [Search時間検索]ボタンを２秒間押し続けます。[時間入力]メニューがポップアップされます。
2. 希望する日時を入力します。
3. [決定]ボタンまたは[メニュー]ボタンを押し、検索を開始します。

4.ログリスト検索

ログリストから録画データを直接検索、レビューできます。アラーム、モーション、ビデオロス、システム関連ログなどを直接選択します。

1. イベント検索を開始するためにリモコンの [ログ] **[ログ]**ボタンを押すと、
   下のようにログリストが表示されます。

メニュー・タブ	リスト
オール	• 電源が入ったときからの全てのイベントログリスト
システム	• 全てのシステム関連ログリスト
ネットワーク	• ネットワーク関連ログリスト
イベント	• アラーム、モーション、ビデオロス、システム以外のイベントログリスト
ビデオロス	• ビデオロスのリスト

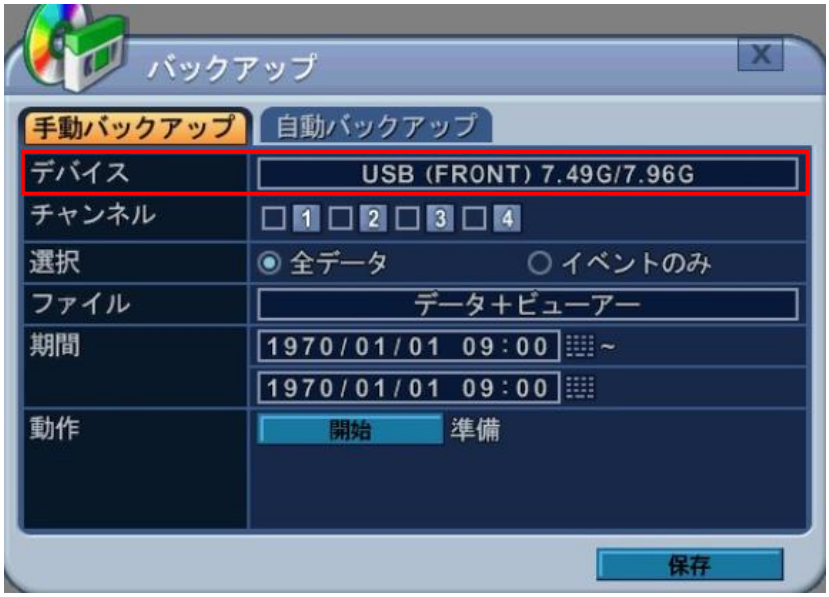
2. 上下**[▼▲]**ボタンで再生する項目を選択します。左右**[◀▶]**ボタンで次のページに移動します。
3. **[決定]**ボタンを押し、再生します。

IX.バックアップ

1. マニュアル・バックアップ

1.1 USBメモリー

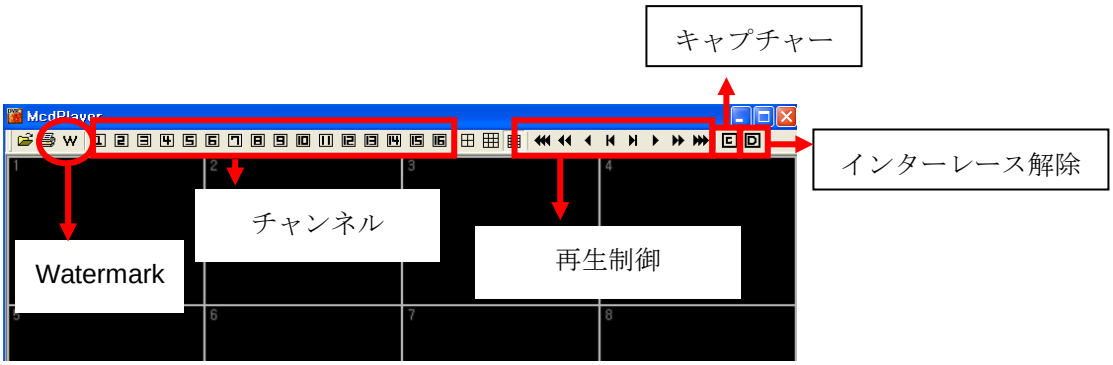
1. USBメモリーを挿入します。
2. リモコンの[バックアップ]ボタンを押すと、バックアップ・メニューが表示されます。



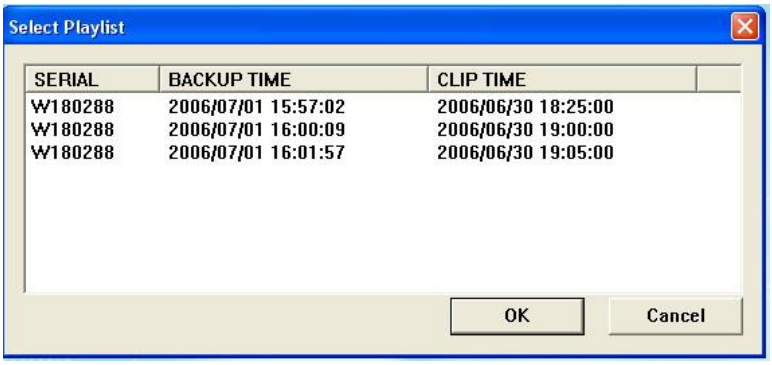
3. USBメモリーが検知されるとデバイス項目で表示されます。
4. **[決定]**ボタンで希望するチャンネルを選択します。
5. バックアップするデータを選びます。
   (1) 全データ: ノーマル録画データ
   (2) イベントのみ: イベント録画データ
6. ファイルは".s"フォーマットでダウンロードされます。
   データのみ/データ＋ビューアー/AVIファイルの中で一つを選択してください。
7. バックアップ期間：バックアップする範囲(開始、終了時刻)を決めます。
8. 00:00形式で時刻を入力した後，　動作項目へ移動します。.
9. **[決定]**ボタンを押し、バックアップを開始します。

- バックアップ進行状況はウィンドウの下部にパーセンテージで表示されます。
  画面表示はキャンセルボタンを押すと、消えます。バックアップ・ボタンを押すと、また表示されます。バックアップ中には再生しないでください。

* 再生ソフトウエアは自動実行されますので、PCに設置する必要はありません。



<ノート1> マルチ・セクションでバックアップすると、下のように再生リストが表示されます。



1.2 外部USB HDD/CD-DVD

外部ドライブのバックアップはUSBメモリーのバックアップと同様です。
FAT32またはNTFSフォーマットを行い、ウィンドウでUSBバックアップHDDを使用します。

1.3 バックアップ範囲の設定

バックアップの前簡単にバックアップ範囲を決めることができます。
時間検索ボタンで表示されるカレンダーで**[◀▌]**ボタン:バックアップ開始時刻、
[▌▶]ボタン:終了時刻を選択します。選択されたバックアップ範囲は紫色に変化します。

バックアップボタンを押すと選択されたバックアップ時間帯がバックアップ範囲に
表示されます。

2. 自動バックアップ(FTP)

1. デバイス：[- ＋]ボタンでFTPを選択します。
2. 方向ボタンを使い、FTP設定ボタンへ移動します。決定ボタンを押し FTP設定メニューへ入ります。

項目	調整
サーバー	• FTPサーバーを選択し、数字ボタンでFTPサーバーを指定します。
ポート設定	• FTPサーバーが通信するポートを設定します。
認証	• 認証の“ON”、“OFF”を選択します。
ユーザー ID	• FTPサーバーのユーザーIDを入力します。 (大文字で表現されますが、小文字で認識されます。)
パスワード	• パスワードを入力します。 (全て小文字で認識されます。大文字はサポートしていません。)
接続	• 接続モードを選択します。
バックアップ経路	• 経路はバックアップ前, FTPサーバーに指定してください。多数のDVRが一つのFTPサーバーを利用するときのために、Macアドレスが初期設定されています。
テスト	• 上記設定をテストします。

3. チャンネル：希望するチャンネルを選びます。
4. 選択：すべての録画データあるいはイベント録画データを選択します。
5. 期間：バックアップするデータの範囲を決めます。
6. 動作：バックアップを開始します。

3. ログリストバックアップ

1. USBメモリーをUSBポートへつなげます。
2. “ログ”ボタンを押し、リストを確認します。

3. ログリストで“バックアップ”ボタンを押すと、USBメモリーへデータが保存されます。

1) デバイス：**[決定]** ボタンでデバイスを選択します。
2) タイプ：バックアップするデータの種類を決めます。
3) 期間：バックアップするデータの範囲を指定します。
4) 動作：**[+]** ボタンを押し、バックアップを開始します。

X.仕様

仕様	4CH	8CH	16CH
映像入力	4ch BNC	8ch BNC	16ch D-SUB
映像出力	HDMI(1920*1080)、VGA(1280*1024), コンポジット、スポット出力		
圧縮方式	H.264		
アラームイン/アウト(リレー)	4/1	8/1	16/1
システム制御	フロントボタン、IR リモコン、マウス		
ライブディスプレー速度	リアルタイム		
録画速度	120fps 720X480 120fps 720X240 120fps 360x240	120fps 720X480 240fps 720X240 240fps 360x240	120fps 720X480 240fps 720X240 480fps 360x240
音声イン/アウト	1/1	1/1	4(1 RCA+3 D-SUB)/1
特徴			
録画モード	マニュアル、予約、アラーム、モーション		
	チャンネル毎解像度、コマ数、画質設定 プライバシーゾーン設定		
アラーム録画	事前録画: 5 秒~ 300 秒 / 事後録画: 5 秒~300 秒		
モーション検知	8*8 エリア検知		
検索モード	日付、時間、カメラ、イベント(アラーム、モーション) ビデオロス、モーションエリア		
バックアップ	USB メモリー、外部装置(HDD、CD/DVD-RW) クライアントソフト、ウェブビューアー 自動バックアップ：FTP		
インターフェース	RS422/485、イーサーネット(10/100 Base-T)、USB 2.0		
電源	12V 3A アダプター提供		
ネットワーク	LAN、WAN、インターネット(5 人同時接続可能)		
遠隔監視	クライアント(EMS)、ウェブビューアー、 スマートフォンアプリ		